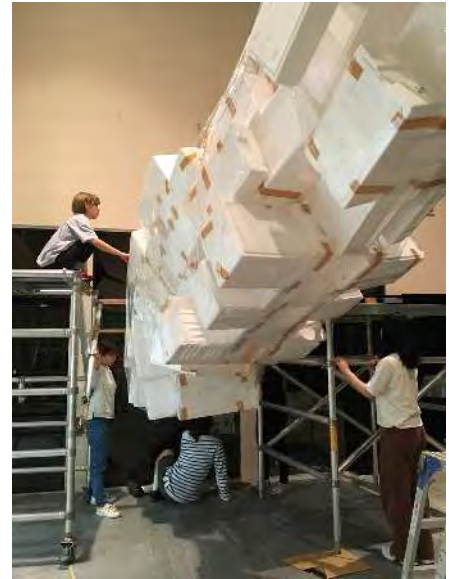


平成28年8月3日
相模原市発表資料

アートラボはしもと「学生企画による学生作家の展覧会」

よみ 黄泉とき！おばけずかん ~ 見えないきもちが見えてくる ~



アートラボはしもとでは、大学生たちが1年がかりで企画・準備した、学生企画展「^{よみ}黄泉とき！おばけずかん」を開催します。

〔学生企画展とは〕

美術大学に囲まれた相模原独自の事業として、全国に先駆けて平成13年に相模原市民ギャラリーで開始され、現在はアートラボはしもとに引き継がれています。

展覧会やイベントなどの企画力・運営力などを身に付けたい学生たちが、アートラボの専門スタッフの指導を得ながら自分たちでその企画を立て、テーマに合った作品を探し出し、1年後に展覧会として開催する長期体験型のワークショップです。

企画運営側の学生(学生スタッフ)は1年間に60~70回にも及ぶミーティングを開き、これらの準備をします。また、これに出品する作家も学生(学生作家)です。

これはその第10期生学生スタッフたちが考えた展覧会です。

【テーマ】

今回、第10期生学生スタッフが考えたテーマは「おばけ」。人々の気持ちが何かのカタチとして現れたものを「おばけ」と定義し、作家もこれと同じように自分の気持ちを作品というカタチに表すということに共通点を見出しています。

よってサブタイトルを「見えないきもちが見えてくる」としています。

【展覧会名】 『^{よみ}黄泉とき！おばけずかん～見えないきもちが見えてくる～』

【会 期】 平成 28 年 8 月 6 日（土）～28 日（日） 午前 10 時～午後 6 時
観覧無料・水曜日休館

【会 場】 アートラボはしもと（相模原市緑区大山町 1 -43）
（橋本駅「南口」より徒歩 12 分。アリオ橋本に隣接）

【学生スタッフ】 13 人 （女子美術大学・多摩美術大学・法政大学）

【学生作家】 10 人（8 人 1 組）（女子美術大学・多摩美術大学・武蔵野美術大学）

【見どころ】 ・ガラス窓を通り抜ける全長 8 m ほどのクジラの作品『クジラ』
（女子美術大学 2 年 竹本未来）
・ビニールシートでつくられた「おばけ屋敷」のような作品『オルタナティブ・子供』（武蔵野美術大学 4 年 田中義樹）
・遺跡から発掘されたスマホを持つ人骨作品『東京原人 0003 ユウタ』
（武蔵野美術大学 3 年 佐藤 洸）
・団扇の骨でつくられた無数の魚の骨格作品『カサゴ』
（多摩美術大学 4 年 椎野 朱）
など、ユニークで楽しい「おばけ」作品を会場いっぱいに展示します。

問い合わせ先 アートラボはしもと
☎ 042(703)4654 担当：瀧川

【展示作業中画像】

